

なご市議会だより

Nago City Assembly Newsletter



平成31年1月17日 久志診療所の存続を求める意見書の要請行動(沖縄県議会)

本会議の経過

平成30年12月定例会は、下記の日程で市長提出議案14件、報告2件、同意1件、認定7件、意見書案4件、決議案1件が審議されました。そのほか請願3件、陳情6件が審査されました。審議の結果につきましては、議案処理結果一覧をごらんください。

傍聴について

市議会の本会議は一般に公開されております。議会でのどのような会議を行い、市政運営がどのように進められているのか、実際に見ることができます。

第193回定例会においては40人の傍聴者がいらっしやいました。ありがとうございました。

第194回定例会は平成31年3月1日開会予定となっております。お気軽にお越しください。

名護市議会定例会及び臨時会	平成30年12月6日	第193回(12月)定例会 請願・陳情案件上程及び委員会付託・議案上程及び説明・先議議案審議
	7日	議案研究
	10日	議案質疑
	11日~17日	一般質問 延べ25人
	18日	追加議案上程及び審議(質疑・討論・採決)
	19日	付託事件の審査(委員会)
	21日	委員会報告及び処理・議案審議(討論・採決)、意見書案及び決議案の処理
	平成31年2月5日	第286回 臨時会

議 会 日 誌	平成30年12月10日	広報広聴委員会
	18日	議会運営委員会
	19日	軍事基地等対策特別委員会
	21日	北部基幹病院等建設推進特別委員会
	平成31年1月17日	意見書案第11号に係る要請行動(沖縄県、沖縄県議会)
	21日	広報広聴委員会
	24日	北部基幹病院等建設推進特別委員会
	28日	意見書案第14号に係る要請行動(沖縄防衛局)
	29日	意見書案第12号に係る要請行動(沖縄防衛局、外務省沖縄事務所)
	2月1日	議会運営委員会
12日	市民意見交換会(労働福祉センター、屋部支所)	
13日	市民意見交換会(羽地支所、久志支所)	
	議会運営委員会	

市政 に対する 一般質問 から

第193回定例会における一般質問は、平成30年12月11日から17日までの5日間（土日、祝祭日を除く）で25人の議員から市政全般にわたる諸問題について質問が行われました。紙面の都合により各議員が指定した事項とそれに対する答弁を要約して掲載しております。

なお、一般質問の詳細につきましては、名護市議会発行の会議録を議会事務局、名護中央図書館に備えてありますので参照ください。また、名護市議会ホームページにおいて会議録検索システムもご利用になれますのでご利用ください。



会議録検索

アドレス www.city.nago.okinawa.jp/soshiki/gikai

その他の主な質問

- ◆ 市民生活の末端部ごみ処理施設・リサイクル施設・最終処分場・し尿処理施設について
- ◆ 名護市21世紀の森公園サッカーラグビー場の整備について

名護市のシンボル（市制3周年記念にて、昭和48年8月1日）制定「カンヒザクラ」

名護市から開花促進プロジェクトは、各区や企業が主体的に実施する桜の育樹活動を推進することを目的に、平成25年8月の第1回目の市民育樹活動から、年2回、8月と3月に実施しており、ことし8月までに活動を11回実施しています。しかし近年、たび重なる台風襲来による枝折れ、倒木等によるダメージがあり、桜の開花状況が思わしくない状況が続いています。その対応策として、沖縄県建設業協会北部支部が名護城公園の倒木などの清掃活動を12月中旬に実施するほか、12月中には名護ロータリークラブが、さくら公園に桜の成木を3本植栽する計画を検討しています。名護城公園の桜の整備には、沖縄県、名護市、名護さくらの会、公園指定管理者が連携して、さくら祭り前までに整備します。また観光の観点から、沖縄観光コンベンションビロと協議を行い、協力を依頼しています。市内の桜及び名護城公園の桜の管理・育樹は、全日本花い、ぱい名護大会の準備を進める上で、市民、事業者、ボランティア団体、県等、多様な主体がかかわり支え合っていく体制の構築や、緑化活動支援のための市民参加型の機会の創出などについても検討します。



岸本 直也 議員
☎090-2398-9212

A ○小野雅春 商工観光局長

Q 市内の桜の木の管理・育樹の取り組みについて伺います。

博物館建設について



金城 隆 議員
☎090-3794-7810

A ○中本正泰 教育次長

（1）新博物館建設は、「名護・やんばるの自然と文化拠点施設」整備事業として、沖縄振興特別推進市町村交付金の交付決定を受け、今年度は基本設計、造成設計、測量、土質調査の各業務を進めています。今後のスケジュールは、次年度に実施設計、用地購入、造成工事、そして2020年から21年度に建築・展示・外溝工事を実施し、2022年秋のオープンを予定しています。

（2）本施設は、名護市大中の旧森林資源研究センター跡地のうち、約2ヘクタールを敷地とし、屋内・屋外機能を効果的に融合させた施設整備を目指しています。基本計画において、ガイダンス機能の核となる展示・情報・交流棟（博物館本館の部分）として、3階建て建築延床面積、約3,300平方メートルを想定しています。そのほか、屋外に整備する古民家や高倉、ワークショップ棟、駐車場50台となっています。また、敷地の大部分を占める起伏に富んだ緑地は、そのまま保全・活用し、自然観察・学習等で利用する計画となっています。財源は、沖縄振興特別市町村交付金（一括交付金）の基本枠と特別枠を想定していますが、財源の確保に向けて、現在、北部連携事業での可能性もあわせて検討しています。

Q （1）建設工事に向けた現在の進捗状況について伺います。（2）計画規模とその財源について伺います。

その他の主な質問

- ◆ 市堆肥センターの稼働状況について
- ◆ 市民意見交換会（屋我地地区）より

久志診療所継続について



宮城 安秀 議員
☎55-2900



2019年3月

31日付けで名護市三原の久志診療所が閉鎖するとの発表があり、久志支部区長会(13区)で住民の健康維持について懸念を示している。久志地域の区民にとって大変重要な施設であり、継続していただくために、せんだって久志支部区長会で11月22日に請願書を提出したところである。市の見解を求めます。

A ○松田 健司 地域施策部長

同施設は、平成15年6月の開所以来、久志地域の医療を支えていただけてきています。開所当初の患者数は1日平均20・1名でしたが、現在、平成30年9月現在では、1日平均11・4人と大きく減少しています。また、運営は、開設当初から医師派遣に関する補助金等を受け運営しており、今年度に関しては名護市から補助金を交付する予定となっております。しかし、その運営は非常に厳しい状況で今年度も、約700万円の赤字決算の予想であります。このような状況を踏まえ、市では、北部地区医師会を初めとする関係機関との意見交換や沖縄県より情報収集するなど、あらゆる角度から検討を進めています。今後同診療所の存続を視野に、一日も早い地域医療の確保について取り組みたいと考えています。

その他の
主な質問

- ◆ 豊原の久辺郵便局向かい市管理の里道及び同交差点について
- ◆ 大浦区公民館建設について

名護市における外国人技能実習制度の状況について



岸本 洋平 議員
☎090-3796-2401



(1) 名護市における外国人技能実習制度の状況について、現在市内に在住している実習生の人数を出身国別にお答えください。

(2) 市が行っている支援の取り組みについて伺います。

A ○小野 雅春 商工観光局長

(1) 沖縄労働局のデータとして、沖縄県全体の技能実習生が926人であるのに対して、ハロワーク名護所管内においては27人が雇用されています。また、沖縄県全体における国籍別技能実習生の割合は、技能実習生926人のうち、ベトナムが5・6%の462人と最も多く、次いでフィリピンが10・6%の105人、中国が6・2%の5人となっています。市町村別の国籍別内訳は、ハロワーク名護では把握していないのとことです。

(2) 本市は、外国人雇用を所管する部署を設置していませんが、市内の4つのホテルにヒアリングを行っており、2社について、中国と台湾から技能実習生を、それぞれ1人を受け入れているとのことでした。課題は、実習生個人の日本語力の問題、実習生及び受け入れ地域の相互においての文化理解を促進するための環境整備、それから実習生の通勤や買い物などの移動の問題などが挙げられるとのことでした。
本市としては、国の動向を注視しつつ、現状把握及び課題の抽出を行うとともに、引き続き情報収集に努めたいと考えています。

その他の
主な質問

- ◆ ハブ対策事業について
- ◆ 地域子ども子育て支援事業について

少子化対策について



長山 正邦 議員
☎080-3717-9561



1 安和小学校では、かつて児童数が100名以上もいましたが、現在は67名と減少傾向にあります。安和小学校の生徒数の推移について伺います。

2 その原因と解消するための対策について伺います。

A ○中本 正泰 教育次長

1 平成30年度、安和小学校の児童数は、12月1日現在で6名となっています。過去の推移は、平成15年度に107名とピークに達した後、児童数は減少し、平成25年度は41名となっています。その後、平成2年度までは横ばい状態が続きましたが、平成2年度からは徐々に増えつつあります。平成31年度以降の推計は、現在6歳児以下の人口から推測しますと、平成31年度に77名、平成32年度0名、平成33年度5名、平成34年度0名、平成35年度1名と増加する傾向にあると考えています。

(2) 児童数の減少の原因は、様々な要因があると考えていますが、平成31年度以降からは、児童数は上向き傾向となるものと推測をしています。教育委員会としては、安和小学校が自然豊かな環境に恵まれた小規模校であり、その特色を生かした小規模特認校や教育特例校など、今後の児童数の推移や動向を踏まえ、対応を検討してまいります。

その他の
主な質問

- ◆ 災害対策について
- ◆ 山道門川線の整備について

教育行政について



石 康政 議員
☎58-1539

A ○ 中本 正泰 教育次長

名護市外高校への進学状況は、市外へ138人、県外へ22人、合わせて160人の生徒が市外へ進学をしています。市内に中高一貫進学校を設置することは、6年間を通じた教育課程や学習環境のもとで学ぶ機会を提供することになり、難関国立大学等への進学を地域在住で目指す児童・生徒・保護者のニーズに応えるものになると考えています。教育委員会としては、設置に向け、引き続き関係機関と意見交換を行うなど、中高一貫校の設置推進に向け、取り組むたいと考えています。

Q 中・高一貫の進学校の設置について市の見解を伺います。

Q ● 石嶺 康政 議員

市長の公約の中にも中・高一貫の進学校の設置があります。市の中・高一貫の進学校の現在の取り組みについて伺います。

A ○ 中本 正泰 教育次長

今年7月に教育委員会として、沖縄県教育委員会と中・高一貫進学校の設置について、意見交換を行っています。その後、11月に県教育委員会教育長に対して、市教育委員会教育長から県立中・高一貫進学校の名護市への設置についてという要請を行っています。県教育委員会では、現行の県立高等学校編成整備計画を平成33年度には見直す予定であるということですので、今後、県立中・高一貫校の名護市設置に向けて、教育委員会としても取り組みたいと考えています。

その他の主な質問

- ◇ 生活保護世帯数、独居老人世帯数について
- ◇ 嵐山展望台周辺整備事業について

安心安全なまちづくりについて



仲尾 ちあき 議員
☎090-9585-5258

と発生件数を伺います。(2)下校時の発生場所、街灯が設置されておらず、死角場所での発生事案があります。それについて、市当局の見解を伺います。

A ○ 中本 正泰 教育次長

(1)平成30年4月1日から12月3日までに報告されている事案は42件となっています。発生場所を校区ごとで多い順に並べると、名護中学校区と屋部中学校区でそれぞれ9件、大宮中学校区と久辺中学校区でそれぞれ7件、東江中学校区6件、羽地中学校区3件となっています。校種別では、小学校で36件、中学校で5件、幼稚園で1件となっています。

Q 市内で不審者発生状況が報告されていますが、教育委員会に報告されている状況について伺います。(1)発生場所

A ○ 松田 健司 地域政策部長

(2)市内の生活環境の整備並びに不良有害環境の排除及び犯罪の誘発を防止するとともに、市民の安心・安全及び青少年の健全育成を図るため、自治会、自治会、商店街通り会、その他市長が特に必要と認める団体からの申請により、予算の範囲内において、街灯設置に係る経費及び電気使用料の一部補助を行っています。地域によっては、新築住宅等が増加しているなどの事情により、整備がまだ十分でない状況を認識しているため引き続き、自治会、自治会等と調整を図りながら、市民の安心・安全及び青少年の健全育成を図るために、街灯設置補助を進めたいと考えています。

その他の主な質問

- ◇ 子育て支援について
- ◇ 沖縄県消防防災ヘリコプターの導入について

B & G プールの修繕について



神山 正樹 議員
☎090-7440-2751

確認してきました。大変多くの設備の修繕が必要だと感じています。そこで1 当該施設管理者からの修繕要望は提出されているのか 2 各設備台帳の管理は、どのようになっているのか 3 各設備の修繕計画は、どのようになっているのか以上を伺います。

A ○ 松田 健司 地域政策部長

(1) B & G 海洋センタープールは、平成12年に設置され、建設から15年以上が経過し、経年劣化によるふぐあいがたびたび発生している状況です。施設管理は、毎月1回担当課と指定管理者との連絡協議会を開催しており、施設の管理状況、機器等のふぐあい箇所などを情報共有して、施設の維持管理に努めています。今年度は、自動ドア1基及び給湯用ラインポンプ、空調換気扇の修繕が終了し、現在は、施設内照明の一部の修繕を進めています。今後は、指定管理者と協議を行いながら、早急に修繕ができるよう努めます。

Q B & G プール利用者から、プール内設備の修繕をしていただきたいとの話があり、先日当該施設に伺い、状況を

その他の主な質問

- ◇ 風疹対策について
- ◇ 数久田区流弾事故について

(2) 設備台帳は、指定管理者が管理、保管をしています。

(3) 消防設備機器更衣室口、カー、照明器具、排水ポンプ等の修繕を計画しています。今後引き続き、時代のニーズに沿って修繕計画の見直しを図りながら、施設の維持管理に努め、利用者が快適に利用できる施設整備に努めます。

防災対策について



東恩納 琢磨 議員
☎090-9786-9471



Q (1) 安部区では、台風時に河川へ溯上する波によって道路が冠水し、床上浸水する被害がたびたび起こっています。早急に行える対策として区から要望のあった一部擁壁によるかさ上げの進捗状況をご説明ください。(2) 台風後の停電の早期復旧を目指して沖縄電力と名護市が協定書を結ぶことについてどこまで進展していますか。

今年度の取り組みは、シーカヤク教室及び水泳教室を開催したほか、ト・プアスリートを招聘したスポーツ教室として、7月7日に、プロ卓球選手の森園美月選手を講師としてお招きし、北部地域の中学生を対象とした教室を開催しました。また、指導者育成として、11月14日に専門家を招聘して、市内中学校の部活顧問の先生方や保護者の方を対象に、現場で実践できるトレーニングの技術取得、けがの予防、再発予防等を内容としたスポーツテーピングセミナーを開催しました。さらに、今月末には、本市出身のJリーガーである比嘉祐介選手を招聘したサッカークリニックを開催する予定となっています。今後も、各種スポーツ団体にヒアリングを行いながらニーズを把握して、市民参加型のスポーツ教室や指導者講習会等の開催などに取り組んでまいります。

A ○長山 儀和 建設部長

(1) 安部区長と情報交換を行ったところ、今回の台風襲来時に直接海域から集落内へ越波している状況を確認したため、今、河川護岸のかさ上げを実施した場合、集落内の浸水時にさらなる被害を招くおそれがあるので、河川護岸のかさ上げではなく、海岸への消波ブロックの設置など、抜本的な波浪対策を要望したいという話がありましたので、現在県と安部区の高潮対策について、県による海岸整備及び市による河川整備両面での対応ができないか協議を開始しています。

A ○祖慶 実季 総務部長

(2) 去る11月16日に副市長が沖縄電力名護支店を訪問し、支店長を交えて今後の災害時における停電対策や停電時の対応について、本市としての要望と相互の協力体制について協議を行ったところ、協定書を締結し、相互の協力体制等について確認できないか確認をいたしました。沖縄電力としても、今後お互いに協力体制の構築を検討していきたいという回答をいただいたので、さらなる連携が図れるようにつとめてまいります。

その他の主な質問

- ◇ 最終処分場について
- ◇ 久志診療所の存続について

教育振興について



比嘉 拓也 議員
☎090-8292-9278



Q 青少年のスポーツ活動の推進、ジニアを中心としたト・プアスリートの育成・強化及びスポーツ少年団の組織強化及び指導者育成の推進、また、プロ選手やト・プアスリートによるスポーツ教室の開催等について説明をお願いします。

A ○松田 健司 地域政策部長

今年度の取り組みは、シーカヤク教室及び水泳教室を開催したほか、ト・プアスリートを招聘したスポーツ教室として、7月7日に、プロ卓球選手の森園美月選手を講師としてお招きし、北部地域の中学生を対象とした教室を開催しました。また、指導者育成として、11月14日に専門家を招聘して、市内中学校の部活顧問の先生方や保護者の方を対象に、現場で実践できるトレーニングの技術取得、けがの予防、再発予防等を内容としたスポーツテーピングセミナーを開催しました。さらに、今月末には、本市出身のJリーガーである比嘉祐介選手を招聘したサッカークリニックを開催する予定となっています。今後も、各種スポーツ団体にヒアリングを行いながらニーズを把握して、市民参加型のスポーツ教室や指導者講習会等の開催などに取り組んでまいります。

その他の主な質問

- ◇ なぎさ橋付近の道路改良について
- ◇ 児童生徒等の県外派遣に関する補助金について

数久田轟川しゅんせつについて



島袋 議員
☎090-1949-4967



Q 数久田区より県北部土木事務所所長宛てに平成17年2月2日付け、工事について要請書を出しましたが、いまだに回答がなく、また平成2年4月21日付け、轟川維持管理についても要請書を出しました。平成30年、現在は平成17年度よりも土砂が堆積し、干潮時には、そこへごみや空き缶等が流れ着き、大変見苦しい状況にある。数久田轟の滝公園への通路にもなっていることから、早目の対策が必要であるが、その対応と対策について伺います。

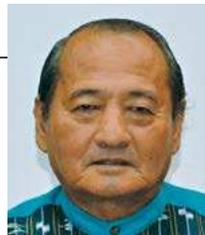
A ○長山 儀和 建設部長

数久田区公民館付近の数久田橋下流側左岸と、その上流側の前平橋付近左岸の河川内に砂が堆積している状況を確認しています。轟川は、二級河川となっており、県が管理する河川であり、数久田轟の滝広場へのアクセス道路の市道轟線と隣接していることから、治水の問題のほか、衛生面や環境的に好ましくない状態であり、地元の方々には大変憂慮すべきことだと考えています。轟川のしゅんせつは、河川管理者である北部土木事務所維持管理班へ問い合わせたところ、「毎年、限られた予算の中で緊急性を判断した上で河川のしゅんせつ等を行っています。市において数久田轟の滝広場の整備を行っていることやその通路にもなっていることから、早期の対応を検討したいと考えています」との回答がありました。

その他の主な質問

- ◇ 数久田轟線道路について
- ◇ 道路整備について

福祉行政について



宮里 尚 議員
☎52-5476

A ○野原 健伸 市民福祉部長

平成30年10月より実施されていますが、まず一般保護基準の主な見直しについてですが、まず一般低所得世帯の消費実態、これは年齢、世帯の人員、居住地域別との均衡を図るため、生活扶助費の見直しが行われています。次に子どもがいる世帯に加算される児童養育加算、母子加算の見直しが行われています。児童養育加算は、現行の児童手当と同額とする基準を改め、子ども一人に対して一律1万円を支給することにも、支給対象が中学生までから高校生までに拡大されておりいます。母子加算は、現行の平均月額約2万1000円から、1万7000円に改められています。そのほかに、教育扶助、高等学校等就学費の見直しが行われ、これまで毎月金銭給付していましたが、学習支援費は、年額上限を設けた上で、クラブ活動費の実費支給を行う方法となりました。また入学準備金の増額や高校受験料の支給回数等の拡大等が見直しが行われています。

Q 平成30年10月からの生活保護の見直しの主なポイントについて詳しく説明をお願いします。

その他の主な質問

- ◇ 建設行政について
- ◇ 農林水産行政について

教育行政・学校給食について



翁長 久美子 議員
☎080-6494-9787

A ○中本 正泰 教育次長

でありましたが、建設予定の第1給食センターでの食物アレルギー疾患を持つ児童生徒への対応について伺います。

現在名護市立小中学校における食物アレルギーを有する児童生徒の人数は、小学生12名のみとなっており、学校給食停止届により学校給食の一部提供または全部の提供を停止する報告があった件数となっています。そのうち2名の児童が学校給食の提供を全て停止し、弁当を持参している状況です。今後、建設を計画しています学校給食センターは、食物アレルギーに対応する調理室を設け、除去食の提供を行う予定です。対象品目は、栄養士等と議論を重ねた上で決定をしていきたいと考えています。

Q ●翁長 久美子 議員

今、給食の提供を停止している子どもたちが2人います。そういう子どもたちにもアレルギーの対応ができるのでしょうか。

A ○中本 正泰 教育次長

第1給食センターで予定するアレルギーについては、主要7品目の対応を検討しておりますが、実際にどうするかは、栄養士等と調整をしたと考えています。

Q 食物アレルギー疾患を持つ児童生徒の対応について、市内では12名おり、給食を10名が一部提供、2名が提供停止と9月定例会

その他の主な質問

- ◇ 饒平名区難聴地域の防災行政無線増設について
- ◇ 「ミニ・ミニ」デマンドバスタクシーの導入について

北部基幹病院の整備促進の取り組みについて



金城 善英 議員
☎54-1259

A ○松田 健司 地域政策部長

北部基幹病院の整備は、県、北部12市町村及び北部地区医師会が参加する 統合問題の基本的枠組みに関する協議会 において議論しており、これまでに4回開催しています。第5回の協議会は、11月5日の開催が延期となり、来年1月16日に開催する予定です。取り組みについては、12月4日に北部市町村会において、県立北部病院や北部地区医師会との地域医療に関する意見交換会を行っており、それぞれの病院における現状などについて理解を深めています。今後も県の考え方について注視していくとともに、北部市町村間の合意形成を図り、基幹病院の整備に向けた基本的な枠組みへの合意に努めたいと考えています。

Q ●金城 善英 議員

第5回が延期になった理由と、また、協議会の主な参加者について伺います。

A ○松田 健司 地域政策部長

協議会は、北部12市町村の首長のほか、県の担当部局、県立北部病院、北部地区医師会などで構成されています。延期になった理由は、平良本部長が就任されたことに伴い、これまでの経緯、北部地域の医療の現状について確認する必要があるということで、協議会の開催は一旦延期をしたと聞いています。

Q 北部基幹病院の整備促進の取り組みについて伺います。

その他の主な質問

- ◇ 中高一貫の進学校の設置の取り組みについて
- ◇ 高校生までの医療費窓口無料化(現物給付)の取り組みについて

農業・観光振興について



宮城 さゆり 議員
☎090-9786-7321

A ○比嘉克宏 農林水産部長

お互いに相乗効果を狙い、エントランスでのパンフレット、チラシ等を相互に設置する。それから入り口でのアーチ看板での施設名の掲示、近くの葬斎場の壁面での看板掲示。ロータリー部分での看板設置。イベント等でののぼり設置。イベント時の椅子の貸し出し等を行っています。また現在進行中ですが、パンフレットの同時見直し、表紙のデザイン、施設紹介面、相互のスタンプ押印、スタンプラリーをすると、裏面に近隣施設情報として、相互に情報を入れる。施設内でのお互いのイベント等の告知看板の設置。それから共同でのイベントの開催ができないかというところで考えています。それから今後の検討課題ですが、ネオパークオキナワの敷地に、大型遊具の設置ができないか。ネオパークオキナワの空き地と、なごアグリパークの未整備区域の中で、ヤギパークのようなものがないか。ネオパークオキナワ内の動物ふれあい広場を拡充できないかと考えています。お互いに連携を図り相乗効果を図り、両施設の指定管理者を含めて、我々も今後調整していきたいと考えています。

Q 隣接するなごアグリパーク、ネオパークオキナワの今後の取り組み、連携について伺います。

その他の主な質問

◇ 教育行政について
◇ 国道58号の世富慶歩道橋について

名護市緊急経済対策住宅リフォーム事業について



比嘉 祐一 議員
☎52-3944

A ○長山儀和 建設部長

支援事業を実施している市町村を調査等をしたことがあるのか(3)リフォーム事業を再開する考えはないのか。

(1) 市民や業者からの要望が、毎年数件ほどあり、平成30年度は、2件の問い合わせがありました。

(2) 平成30年度に実施している市町村は12市町村あります。どのように募集しているか調べたところ、経済活性化、雇用促進、住宅の質の向上を目的としたリフォーム支援を実施しています。

(3) 現在、名護市空き家住宅改修支援事業は空き家対策を目的として行っています。また「名護市高齢者いきいき住宅改造成果事業」、「介護保険法による居宅介護住宅改修費の給付」、「障害者自立支援法による住宅改修」、「名護市店舗等改装支援事業補助金」があり、これら関連事業全体の平成 年度実績は、件数として 件、補助金交付額は1,711万4,119円となっており、対して申請者が業者に支払った額は3296万769円となっており、経済活性化にも一定程度寄与していると考えています。住宅リフォーム支援事業は現在計画はありませんが、国及び県の補助メニューがあることから、沖縄県住宅課とも、事業実施の可能性などを調整しながら考えていきたいと思っております。

Q (1)平成25年度で終了した事業ですが、市民や業者からの要望があったと思うが、現状について(2)現在、他市町村で住宅リフォーム

その他の主な質問

◇ 大型冷凍・冷蔵施設の設置について

名護市一般廃棄物処理の現状について



大浜 幸秀 議員
☎090-2714-0952

A ○金城進 環境水道部長

名護市ではこれまで、その他プラスチック・ビニールを最終処分場へ搬入し、うるま市にあります中部北環境施設組合へ搬出し焼却処理をしていました。しかし、平成 年度に中部北環境施設組合の処理施設の基幹改良工事が行われたため、片方の焼却炉運転により、本市のごみの受け入れを制限しながらも継続的に受け入れていただいていたが、基幹改良工事以外のところで設備のぶくあいや落雷により稼働中の炉にぶくあいが生じたりと、不測の事態が起きたことで当初計画の基幹改良工事の期間がずれ込み、名護市のごみの受け入れ制限や停止する期間が徐々に増え、処理量が追いつかず、嘉陽区の最終処分場へ仮置きせざるを得ない事態となり、約1,200トンのプラスチック・ビニールを仮置きする状況となっております。その処理について、県内の自治体で構成する組合の他の焼却施設や民間の処理施設にも全て当たって、お願いをしてきましたが受け入れ可能な施設がなく、3月中に処理する見通しがつかない状況となり、今年度、平成30年度の最終処分場の使用について、嘉陽区との協定書を締結することができなくなつたということです。

Q 嘉陽区と一般廃棄物最終処分場の協定の更新が継続できなかった理由について伺います。

その他の主な質問

◇ 市役所窓口における外国人来庁者への対応について
◇ ツルヒヨドリ対策について

農畜産振興について



小 守男 議員
☎090-1948-7569

農・肉用牛経営・養豚・養鶏は様々な経営強化支援対策事業があるが、ヤギ畜産農家に対する経営戦略対策や、6次産業化に向けた取り組みについて、今後何らかの計画があるのか伺います。

A ○比嘉克宏 農林水産部長

1 補助事業で行った施設は、調査を行っており、平成 年度から平成 年度までに136戸、154ヘクタールを設置しています。今後は、修繕の要望の確認等を行い、農業施設の修繕をモデルケースとして、いくつか実施し、その実績を踏まえ、関係機関と連携して老朽化施設の把握を行いながら、修繕もしくは新たに施設を導入したほうがいいのか、費用対効果等も精査をしていきたいと考えています。

(2) ヤギ農家に対しては、名護市優良山羊貸付事業を平成2年度から平成30年度まで実施し、優良のヤギを農家に貸与して、生まれたヤギを放牧しています。また屠畜から販売流通まで一元化できるように施設ができないか市内の勝山、屋我地、羽地の関係団体とも話し合いながら進めたいと考えています。そこで、触れ合いやアニマルセラピー、福祉とも融合するようなどで6次産業化の推進に向けて、今後検討したいと考えています。

Q (1) 施設農業等の老朽化施設の再整備について当該施設の調査は行っておりますか。今後の対応について伺います。(2) 畜産農家で酪

その他の
主な質問

- ◇ 学校給食施設再整備について
- ◇ 地域振興について

医療行政について



比嘉 忍 議員
☎54-3463

11月1日の新聞によると名護・久志診療所閉鎖へとありました。地域住民の医療環境充実に向けて、行政は積極的に閉鎖回避に向けて取り組むべきと思いますが、今後の取り組みについて伺います。

A ○野原健伸 市民福祉部長

久志診療所の運営は非常に厳しい状況と伺っています。この状況を踏まえ、市では、北部地区医師会を初めとする関係機関との意見交換や、県より情報を収集するなど、あらゆる角度から検討を進めています。今後も存続を視野に、一日も早い地域医療の確保について取り組みを進めたいと考えています。

Q ●比嘉忍 議員

北部地区医師会の評価について答弁を求めます。

A ○金城秀郎 副市長

北部地域の医療において、北部地区医師会病院は県立北部病院とともに貢献ははかり知れないものがあると思っています。救急医療での対応など24時間体制で地域医療を支え、また、地域医療支援病院という立場で、地域クリニックからの紹介に対応する形でも、地域医療を支えていただいています。また、屋我地診療所の指定管理や久志診療所の開設など、市の地域医療についてご尽力をいただいています。とりわけ、久志診療所については、収益が上がりません中、地域の医療を守るという使命感を持って携わっていただき、北部地区医師会は、北部地域の医療の根幹をなしていると言っても過言ではないと思っております。

Q (1) 11月1日の新聞によると名護・久志診療所閉鎖へとありました。地域住民の医療環境充実に向けて、行政は積極的に閉鎖回避に向けて取り組むべきと思いますが、今後の取り組みについて伺います。

その他の
主な質問

- ◇ 学校現場においてのICT教育の推進について
- ◇ 学校内に放課後児童クラブ設置に向けて

辺野古新基地建設問題について



仲村 善幸 議員
☎090-1084-3734

11月13日に行われた辺野古区民への補償問題に関する防衛局、辺野古区、名護市の協議についての説明を求めます。

A ○松田健司 地域政策部長

辺野古区の普天間代替施設等対策特別委員会については、辺野古区長から、地域振興に関して意見交換を行うため、出席してほしい旨の依頼を受け、出席をしました。辺野古区の行政委員の皆様から、地域振興に関する様々なご意見やご要望がありました。戸別補償については、政府において検討されるものと考えており、戸別補償に関する市に対するご意見はなかったものと認識していません。

Q ●仲村善幸 議員

辺野古区から市、国に出された要請書は、13項目54件あります。市としてかわわっていること、かわわっていないものは何々ですか。

A ○松田健司 地域政策部長

辺野古区は市に対して要請をされておりますが、どれが市として受け止められる項目かについては、現在精査をしているところです。

Q ●仲村善幸 議員

今までに3者で何回かという話し合いがされていますか。

A ○松田健司 地域政策部長

特別委員会に呼ばれたのは初めてです。

その他の
主な質問

- ◇ 県民投票について
- ◇ 行政組織について

その他の
主な質問

子どもたちの安心・安全を守るために～通学路の安全点検と対策及び不審者事案の対策について～



川野 純治 議員
☎53-3929



文部科学省等より通学路における緊急合同点検実施の要請がなされ、市内小学校では9月中旬に点検を実施し、その結果を取りまとめ、

県教育委員会に提出したと思います。そこで(1)調査結果を受けて、どのような見解か伺います。(2)不審者情報の共有と対策について現状を伺います。

A ○中本 正泰 教育次長

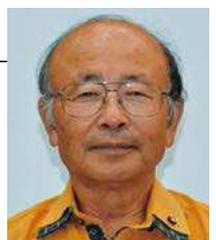
(1)点検の結果、対策必要箇所として多かたのは、地域環境の管理に課題がある。8校、周囲から見えにくく、連れ込まれやすい場所がある8校、明かりがなく、夜間や夕方では犯罪が起きても見えにくい8校となっていました。共通しているのは空き地の雑木が茂っており、見通しが悪いことと街灯がないために見通しが悪くなるということでした。このことから、通学路等における環境の改善が必要であると考えています。

(2)情報共有の流れは、当該児童生徒からの報告を受けた学校が教育委員会と警察へ第一報を入れ、教育委員会から各保育園や幼稚園、小中学校等へ情報を送ります。各学校等は、保護者へ情報を伝達します。また、人物の特定や検挙に至った場合には、警察から報告を受けており、それを各学校等へ連絡をしています。対策は、庁内の関係課や警察、関係機関と連携し、講ずる必要があると考えています。

- ◇ 会計年度任用職員 制度の実施に向けた進捗について
- ◇ 市役所における障がい者の雇用状況について

その他の
主な質問

公共施設について



比嘉 勝彦 議員
☎090-1518-5640



公共施設等の更新には多額の予算が必要となります。しかも長期間で維持管理、修繕といった経費がかかります。このような中で基金を積み立てていくことは至難のわざと言えます。当局ではどのような基金造成計画をお考えでしょうか。

本市では、多くの公共施設が、今後、一斉に更新時期を迎えることが予想されています。公共施設等の整備及び更新等は、総合計画、基本計画、実施計画で定める施策・事業の実施に当たっての財政的な視点からの計画として、5カ年計画の中期財政計画を策定しています。中期財政計画は景気・経済や国の予算・施策、地方財政制度等の動向に対応するため、毎年度、計画の見直しを行っています。また、市庁舎、市民会館、公園及び教育施設等、市が行う公共施設の整備に必要な資金を積み立てる名護市公共施設整備基金があり、金融特区関連施設使用料等や、一般会計実質収支の一部等を積み立てています。今後の公共施設等の整備及び更新等については、当該施設の長期的・全庁的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ最適な配置を考えながら、補助金の活用や公共施設整備基金の繰り入れ等も行い、財政負担の平準化も図り、円滑な財政運営を図っていきたいと考えています。

A ○祖慶 実季 総務部長

- ◇ 信号機の役割と扱い方について
- ◇ マイクロプラスチック 汚染対策について

その他の
主な質問

羽地ダム要望事項について



平 光男 議員
☎090-8836-2408



田井等公園の中にパークゴルフ場をつくってほしいとの要望が田井等区から上がったと思いますが、進捗状況を教えてください。

A ○長山 儀和 建設部長

田井等区より平成27年3月6日付けの文書にて、区の評議員会でパークゴルフ場1ホールの整備を議決した旨の報告を受けています。市としても市民からの要望の多いパークゴルフ場整備を検討していたこともあり、田井等公園に1ホールの公認コースのパークゴルフ場を整備することを決定しています。現在の進捗状況は、平成2年度に用地測量と物件調査を行い、用地は2工区全体で21筆10件中、3筆3件を取得済みで、補償は全体で5件中、1件の補償が済んでいる状況です。事業の進捗率としては、2工区の事業が始まって間もないことから、平成2年度末の事業費ペースで約1%となっています。今後の計画は、ある程度用地取得が済んだ時期に地元の意見を伺いながら実施設計を行う予定です。また、2工区については周囲が農地であることから、現在では農道がアクセス道路となっているので、旧国道号からのアクセス道路を計画しています。今後、アクセス道路の都市計画決定や事業認可、実施設計を行う予定となっています。

- ◇ 羽地大川線の土砂崩れ場所の復旧工事について
- ◇ 大雨で河川が氾濫したときの対策等のシミュレーションについて

その他の
主な質問

国民健康保険の県統一化について



吉居 俊平 議員
☎070-3801-6518

A ○野原 健伸 市民福祉部長

被保険者の世帯の所得は、世帯所得が非課税の世帯が全体の約41%、世帯所得が1円から100万円の世帯に属する被保険者は約35%、世帯所得が101万円から200万円の世帯に属する世帯は約14%となっており、1世帯当たりの平均所得は6万6093円となっています。世帯当たりの固定資産税額は、非課税の世帯に属する被保険者は全体の約65%、1円から5万円の世帯に属する被保険者は全体の約9%、6万円から10万円の被保険者は約11%、11万円から15万円の世帯に属する被保険者は約7%、16万円以上の世帯に属する被保険者は約8%となっており、1世帯当たりの固定資産税額は平均3万6094円となっています。モデルケースとして、被保険者2名、固定資産税額が4万円、課税所得ごとに試算・分析の結果、非課税世帯の場合、2400円の減、課税所得が100万円の場合、年額2万1400円の増となります。課税所得が200万円の場合は年額3万4600円の増となります。課税所得が増えるごとに増額になりますが、課税所得が800万円の世帯から、医療分、支援分、介護分のそれぞれで賦課限度額にかかるとなる場合もあるので、増額幅は縮小していきます。

Q 国民健康保険税の条例改正による負担の分析結果を伺います。

- ◆ 学校等のコンクリートブロック塀の補修について
- ◆ 再編交付金及び再編交付金基金関連について

その他の
主な質問

沖縄をめぐる総理大臣ほか関係大臣の発言について市長の認識を問う



大城 敬人 議員
☎090-9595-1353

A ○渡具知 武豊 市長

9月定例会以降、国会等での閣僚による発言については、報道等を通して承知しています。閣僚による発言の一つ一つについて、その真意を確認していませんので、特段のコメントは差し控えています。次に、承認撤回に対し、沖縄防衛局長が国土交通大臣に行政不服審査法に基づく審査請求と効力停止の申し立てを行い、国土交通大臣が効力停止を決定した件は、様々な見解があることは承知していますが、法的な問題については、最終的に裁判によって解決が図られるものと認識しています。効力停止決定については、県において国地方係争処理委員会に審査を申し出たと認識しており、まずは同委員会においてしかるべき審査がなされ、一定の結論が出るものと考えています。

Q 県民への無視・差別・視の国会答弁、県民への仕打ちに対して、市民の命と暮らしを守る行政の長として、市長の見解を伺います。

- ◆ キンフ・シワープ内ヘリパド撤去や高さ制限について
- ◆ 辺野古長島の文化財調査について

さくら祭り仮装行列に参加しました！



要請行動

- 意見書案第11号 久志診療所の存続を求める意見書
- 意見書案第12号 米軍による数久田地域への流弾に抗議しキャンプ・シュワープ実弾射撃演習場「レンジ10」の撤去を求める意見書
- 意見書案第14号 辺野古新基地埋め立て土砂投入中止を求める意見書
- 決議案第7号 米軍による数久田地域への流弾に抗議しキャンプ・シュワープ実弾射撃演習場「レンジ10」の撤去を求める決議

意見書案第12号に係る要請行動



外務省沖縄事務所

と き：平成31年1月29日
 ところ：沖縄防衛局、外務省沖縄事務所

意見書案第14号に係る要請行動



と き：平成31年1月28日
 ところ：沖縄防衛局

北部基幹病院等建設推進特別委員会の設置

議会として北部基幹病院設立促進を図り、調査研究を行うとともに、市民に的確な情報提供をし、やんばる住民の福祉向上の促進を目的に北部基幹病院等建設推進特別委員会を設置しました。委員長として神山正樹議員、副委員長として大浜幸秀議員が選出されました。今後は同目的を達成するために全力で臨んでいく所存であります。

神山 正樹	委員長	大浜 幸秀	副委員長
長山 正邦	委員	吉居 俊平	委員
川野 純治	委員	仲尾 ちあき	委員
宮城 さゆり	委員	比嘉 勝彦	委員
翁長 久美子	委員	岸本 直也	委員
金城 善英	委員	岸本 洋平	委員



※吉居俊平委員は所用により、撮影日欠席



インターネット中継を開始しました。

定例会開会中は、インターネット中継（ユーチューブ）をライブ配信しております。詳しくは名護市議会ホームページに掲載しておりますので、皆様のご視聴をお待ちしております。※ユーストリーム配信からユーチューブ配信へ変更しております。

名護市議会 インターネット中継

検索

インターネット中継▶



No. 120

平成31年
3月1日発行

名護市議会だより

広報広聴委員会広報部会

議会報編集委員

長山 正邦 / 大浜 幸秀 / 吉居 俊平

●発行/名護市議会

●印刷/株式会社 沖産業 〒905-0017 沖縄県名護市大中2-1-1 TEL.0980-53-7221